

ご挨拶



「教授就任のご挨拶」

福岡歯科大学咬合修復学講座
口腔インプラント学分野
教授 城戸寛史 (6期)

2012年1月1日づけで咬合修復学講座口腔インプラント学分野の教授を拝命いたしました。同窓会の先生方からは常日頃から多くの応援やご支援を頂き、大変感謝しております。また、2月に講座と同門会主催による祝賀会を開催して頂いた際にも、宮口会長をはじめ、多くの同窓会の先生方にご臨席頂き、大変光栄に思います。福岡歯科大学出身の教授としては、有床義歯学分野の高橋裕教授、成育小児歯科学分野の尾崎正雄教授、口腔医療センターの古賀千尋教授に続いて4人目ということになります。

口腔インプラント学分野では開設以来、数多くのセミナーや勉強会を開催して、同窓の先生方や近隣の歯科医院の先生方と交流を広めてきました。今年度も、すでにいくつかのプログラムが始まっております。なかでも、インプラントに関連した卒後研修の一環として、「ICOI Fellowship養成コース」や「F.P.I.T.インプラントセミナー」は同窓会との共催で開催しており、同窓の先生がたには参加しやすい環境が整っています。

ICOI Fellowship養成コースは、世界最大の規模のインプラント関連学会であるICOIの認定資格を取得するためのコースで、このコース修了者から約25名が資格を取得しています。最近、ICOI Fellowship取得のための受験資格条件が改訂となり、ICOI Fellowship養成コースの受講が必須と条件となりました。

F.P.I.T.インプラントセミナーはインプラントの初心者と中級者を対象とした二部構成のコースで、実習内容が大変充実しています。これらの講習会では学内外で活躍する同窓生が講師陣の中心となっており、同窓生の貴重な研修の機会となっています。

今年度は、福岡歯科大学は40周年を迎えます。この節目の時期に当たり、教授職を拝命したことは、何かの縁と考え、微力ながら同窓会と大学のパイプ役になれるよう頑張る所存です。

【略歴】

福岡歯科大学歯学部卒。九州歯科大学・助手(旧歯科補綴学第1講座)、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロマリナダ大学留学、福岡歯科大学口腔インプラント学分野講師、准教授を経て平成24年1月同大学教授に昇任。博士(歯学) 福岡県出身。

「口腔医療センター教授就任のご挨拶」



福岡歯科大学口腔医療センター
教授 古賀千尋 (10期)

福岡歯科大学同窓会のみなさま、平成23年11月より福岡歯科大学口腔医療センターに赴任いたしました古賀千尋と申します。博多駅前にこのセンターが開院しましてはや8ヶ月が過ぎようとしています。開院前の準備段階から少しずつ関わることが多くなり最終的には理事長の命によりセンターの開設スタッフとして赴任することとなりました。前にも書きましたが、私は、昭和63年に本学を卒業(10期生)、久留米大学医学部口腔外科学講座に入局し、そのまま久留米大学に23年在籍し、再び母校にお世話になることになりました。昨年3月に戻ってきたばかりで、やっと仕事にも慣れて新しい口腔医療センターにてやっていけるかどうかとても不安でしたが、一緒に働く、松浦センター長、米田教授など何でも相談できる先生やスタッフに恵まれ、また本田常務理事のご尽力もあり大きなトラブルもなく順調に今まで運営できていることに感謝しております。

開院当初は一日に20名程度であった来院数も、現在では60-70名程度に増加し、多い日は80名を超える日もあるようになりました。口腔外科、保存科、インプ

ラント科の専門医が常勤し、補綴科が月金、小児歯科が毎週土曜日、矯正歯科が第三土曜日に診療しています。月に2-3日は、センターに歯科麻酔の先生に来ていただきセデーション下のインプラント埋入や嚢胞摘出などの外来手術を行っております。また、開院当初は、患者さんも少なく紹介は、ほとんどない状態でしたが、現在では新患の約半分が同窓や近隣の先生からの紹介患者さんとなりました。たまに新患が多いと、自分たちが慣れていないせいもあり予約の患者さんを長時間待たせたりしていましたが、我々スタッフも少しずつ手際が良くなり患者さんを待たせる頻度が減って来ております。

この8ヶ月、同窓の先生には、色々な面からご支援をいただき、特にまだ未知数である口腔医療センターに患者さんをご紹介頂いている事に大変感謝しております。今後は、同窓の先生の研修の場として様々なセミナーを企画し行っていきたいと考えております。また同窓の先生にとって気軽に何でも相談できる便利な二次医療機関を目指して努力していきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

【略歴】

福岡歯科大学歯学部卒。久留米大学大学院医学研究科外科系専攻博士課程修了。久留米大学医学部助手、講師、助教授。米国インディアナ大学歯学部 (IUPUI) 留学。久留米大学医学部准教授を経て平成23年3月1日福岡歯科大学准教授就任。医学博士。福岡県出身。

同窓生は今…

「みんなの笑顔のために」



沖縄県開業
比嘉奈津美 (8期)

昨年のこの季節、フランスの歴史的な場所で、「ブルゴーニュワインの騎士」に叙任させて頂いた。厳粛な式典、世界各国の騎士団メンバーとの優雅な晩餐会は、私の大きな節目となり、私の人生はその方向に進むかと思っていた。しかし、それと全く違う環境に現在、躰と精神を置いている。想像もしない展開をおのずから招いてしまった。

自由民主党沖縄県第三選挙区衆議院候補となった。私自身も候補者選考委員会の一員として多くの議員団や



経済界の人々と勝てる人材選びに参加していた。皆の熱い思いに心を打たれ私も真剣にその作業に取り組んでいたのである。しかし、数々の背景の中、私に白羽の矢が立ち数カ月に渡る説得を受け、私は、医療人として説明責任を果たす仕事をしてきた延長と考え、県民、国民のために役立つ機会を与えてもらえるかもしれないことを幸せと信じ、衆議院選挙に挑戦することを決意した。

政治に関することといえば、沖縄県歯科医師会副会長・沖縄県歯科医師連盟理事長として、知事選挙ははじめ多くの選挙戦での女性部の一員としての参加に過ぎなかった。その後「沖縄県振興審議会」でこれから十数年の沖縄の歩むべき道を知事らと議論する委員となり、沖縄の未来を考える立場になっていた。

沖縄には日米地位協定・基地問題・領土問題と語らなければならないことも多い。しかし、私は医療人として、また世界の食文化のライセンスを通して培った感性をもって、国際都市としての沖縄を築いていきたいと考えている。沖縄は優しいDNAを持った人々で溢れていることを前に出した経済の活性化である。それがアジアのゲートウェイとして日本の経済を担うことと信じている。カンボジアでの歯科医療ボランティアを通してこの手で、この目でアジアを見てきた。どこの地の水でも飲むことが出来る日本は素晴らしい国家である。日本を信じている。

そしてまた私は母校を愛してやまない。背振のもとで生きた時間を誇りに思う。我が同窓の皆様には、全てをしっかりと見守っていただきたいと思う。



「飯田橋駅徒歩10分」

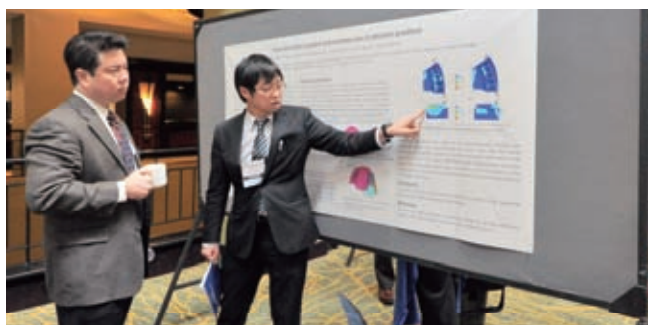


長谷 英明 (31期)

7月某日、満員の有楽町線に揺られながら、今日も飯田橋駅へ向かう。スーツと革靴を身につけて出勤するのも大分慣れた。デスクに腰かけ、茶を啜しつつデスクワークをこなし、お昼時にサラリーマンや OLさんに混じってオフィス街でランチを掻き込んでみると、会社勤めにでもなったかのような錯覚を覚える。

筆者は2011年10月に、本学咬合修復学講座有床義歯学分野より、日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座に研究留学するため上京した。日本歯科大学の歯科補綴学第2講座は、顎機能、応力解析、材料実験の3つのテーマを柱に、臨床に直結する研究を様々な角度から包括的に行っているのが特徴である。今回の東京留学の目的は、その柱の1つである応力解析を学ぶとともに、100年以上の歴史を持つ日本歯科大学のスタイルと、研究に対する姿勢や考え方を吸収することである。当然、上京という言葉に潜在的な憧れを抱いていたことは言うまでもない。

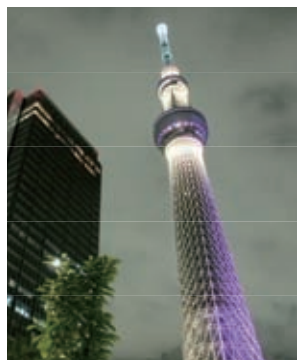
日本歯科大学のもう一つの特徴として、多数の海外大学との連携がある。ロンドン大学、トゥルク大学、ブリティッシュコロンビア大学等、数々の海外大学と提携を結び、積極的に交流が行われている。当講座でも、外国人留学生の大学院生もいれば、米国人の補綴専門医が客員教授として在室していたりする。そのおかげで、筆者もシカゴミッドウィンターと日中歯科医学大会にて発表する機会をいただいた。初めてのアメリカで現地集合



シカゴミッドウィンター

且つ現地解散であったのにはさすがに肝を冷やしたが、最高の経験をさせていただいた。残された時間は限られているが、悔いが残らぬよう研究し、福歯大と日歯大を結ぶ導線の1つになれるよう精進したい。

稿を終えるにあたり、本留学に際してご援助をいただ



夜のスカイツリーを真下から望む

いた福岡歯科大学ならびに同窓会学術振興事業に心から感謝致します。あわせて、留学の実現に向けてご支持、ご配慮をいただいた高橋裕教授ならびに咬合修復学講座の関係者各位に謝意を表します。

平成24年度福岡歯科大学 同窓生対象オープンキャンパス

「同窓生対象オープンキャンパスに 親子参加して思ったこと

～同窓生として、感じた事～



熊本県荒尾市開業

深浦 武志 (12期)

同窓生の皆様、こんにちは。5月27日(日)初めて同窓生対象のオープンキャンパスに娘と一緒に参加させていただきました。場所は本館901号講義室を中心に模擬実習、施設見学、在校生との歓談、ランチ等ありました。まず一番感じたことは施設、設備、実習機材が最新のものに替わっていたことです。在学生がこのような充実したなかで実習できることはとても幸せだと感じました。病院の初診から診



実習体験



学生さん達とディスカッション

療までのシステムもかなり効率よく、患者さんにとっても分かりやすく変化していました。また、ランチタイムの時、在校生と実際に話ができました。講師から聞く、実際の学生生活、学内の様子、指導班の役割など詳しく説明はして頂き安心しました。自分自身も同窓生やお世話になった先生に再会し、娘からは「お父さんの同窓会みたい。」など笑いながら言われました。実は、娘は歯科の道に行くことにまだ迷っています。不安がる娘は進路相談にいらした谷口先生から声をかけていただき、「一番、どの教科を勉強したらいいか。サークル、部活してもやっつけていけるか。」など、質問する姿勢にビックリしました。そんな質問にも優しく、丁寧に説明して頂き、娘も安心した様子でした。最後にオープンキャンパスを親子で参加して思ったこと、それは「絆」でした。やはり、同窓会はいいものですね。いろんな相談や情報が的確に得ることができると感じました。一年後、福岡歯科大に志願し

て入学し、私の後輩になってくれることをひそかに期待しています。

これからもますますの福岡歯科大のご発展、ご躍進を祈念いたしております。

御逝去のお知らせ

〔同窓生〕

荒川 直人 先生 (8期)	平成23年12月8日	福岡西
翁 淳仁 先生 (10期)	平成23年12月23日	福岡南
大津留康行 先生 (3期)	平成23年12月28日	大分県
西部 利隆 先生 (7期)	平成24年2月24日	福岡東
豊田 智章 先生 (4期)	平成24年4月27日	大分県
増井 正三 先生 (1期)	平成24年6月24日	宮崎県
山下 求 先生 (2期)	平成24年7月21日	福岡西

「背振」・「季節風」原稿募集

広報委員会では、同窓会会誌「背振」、同窓会通信「季節風」への皆様方の近況報告や学位取得された先生方の原稿を募集しております。また、各期等の記念事業など開催の告知も掲載致しますのでお申し出下さい。

福岡歯科大学同窓会

Tel 092-863-2966 Fax 092-863-2967
〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

E-mail : dousokai@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学同窓会 第65回九州歯科医学大会 in 熊本

盛夏の候、先生におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より福岡歯科大学熊本県同窓会には格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年10月13日(土曜日)熊本市にて第65回九州歯科医学大会が開催されます。皆様方の奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

平成24年8月吉日

福岡歯科大学熊本県同窓会「大阿蘇会」会長 吉田公典

- 【日程要領】 日程 平成24年10月13日(土) 午前9時～
場所 崇城大学市民ホール 〒860-0805 熊本市中央区桜町1番3号
- 福岡歯科大学九州地区同窓会会議(各地区同窓会担当者)
日時 平成24年10月13日(土) 午後5時～
場所 熊本県歯科医師会館 4階
 - 福岡歯科大学同窓会 懇親会
会場 ホテルキャッスル熊本
日時 午後7時～
 - 会 費 ￥15,000円(二次会費込み)
 - 連絡先 宇治寿隆(7期) TEL 096-363-0145 FAX 096-364-5534